

事業所職員向け

児童発達支援自己評価表

この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5		設備基準以上のスペースが確保されており、必要に応じて相談室や静養室を使い分け快適に過ごせるよう工夫している。
	2 職員の配置数は適切であるか	5		人員基準以上の職員を配置している。また、医療的ケア児も受け入れが出来るよう看護師を配置している
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5		各部屋の用途を視覚的に理解できるよう配慮をしている。毎日予定表を説明・掲示し、何をして過ごすのか見通しを持って過ごせるよう配慮している。室内は段差が最小限になっておりバリアフリー化されている。車椅子での移動や入浴も出来るようにトイレやリフト付浴室を設備している。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5		室温や湿度を確認し必要に応じて加湿器を付けたり換気を行い、過ごしやすい環境になるよう配慮している。終了後は整理や清掃、玩具の点検や消毒を行っている。また、毎月環境整備、感染症対策のチェックを担当者が行っている。テーブルやマット、玩具等の配置を変えて活動に合わせた環境設定をしている。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5		毎日のミーティングの他、月1回の会議にて目標や課題、振り返りを話し合い支援や業務改善に繋げている。参加が出来ない職員には記録や口頭にて伝達を行っている。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5		評価表を基に保護者の意向を共有し、改善に向けて話し合いを行っている。また、面談時に保護者へ意向の聞き取りを行っている
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5		法人ホームページ及び事業所SNS、保護者配布、地域の関係機関へ公開している
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5		法人相互監査を行っている他、今年度は県の実地指導を受け、業務改善に繋げている。また、イベント時には一般の方からのアンケートを通して評価を受けている。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5		国、県、他機関の研修の他、職員全員が法人や事業所内研修に参加し支援の資質向上に努めている。また、参加後は報告を行い、他職員にも伝達を行っている。
適切な	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	5		発達段階チェックリストの活用や療育時のアセスメントを通して課題整理を行っている。保護者や子どもの課題やニーズを的確に捉えられるよう職員間で話し合い、児童発達支援計画を作成している
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5		発達や特性に応じて標準化されたアセスメントツールを使用している
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5		アセスメントを基に、児童の様子、状態、特性から個々に適切な項目を選択し、短期目標を定め具体的な支援内容を設定している
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5		支援計画に沿った支援を行い、必要に応じてステップアップや見直しを行っている

支援の提供	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	職員全員の意見や案を活動プログラムに反映し、活動担当者が立案を行っている
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	週、曜日で活動が被らないよう配慮し、幅広く活動に参加できるよう活動を組み込んでいる。月によって違う遊び、活動を取り入れている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	5	特性や必要に応じて個別活動と集団活動を取り入れ支援計画に反映している。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	変則勤務形態を取り入れているため全員での打ち合わせは出来ないが、活動提供計画にて活動のねらいや内容を確認したり、ボードや日報にて当日の利用者状況や役割を確認できる仕組みになっている
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	支援終了後に当日の情報共有や支援の振り返りを行い、今後の支援に繋げるよう取り組んでいる
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	利用者のサービス提供記録及び、気付きや生活の様子の記録を取り職員間で日々周知をしている。また、毎月の会議にて検証・改善を行っている
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5	定期的に見直しを行い利用者の状況等に応じて見直しの判断をしている
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	児童発達管理責任者が参加、必要に応じて看護師等も参加している
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5	各関係機関と連携し支援会議の参加、情報共有を行っている
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	5	医療的ケア児受け入れのマニュアルに沿って主治医より指示書を預かり、保護者より同意書を取り交わし、常に連絡ができるよう行政や園と共有を行っている。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	5	医療的ケア児受け入れのマニュアルに沿って主治医より指示書を預かり、保護者より同意書を取り交わしている。連絡体制の整備として事業所での対応マニュアルを作成し保護者や行政、園と共有をしている。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	児童発達支援計画の共有や支援の様子、必要に応じて見学や支援会議を行い情報共有、相互理解に努めている
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	支援シートを作成し情報共有、情報交換会や授業参観等にも参加し連携を図っている
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	相互に見学をしたり、研修等に積極的に参加している。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	園との交流は出来かねているが、感染症対策を行いながらイベントでの一般開放日を通して障がいのないお子さんとも一緒に活動できる機会を提供している
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	5	積極的に参加している
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	5	送迎時や連絡帳で様子や支援内容を伝え合い共通理解に努めている。必要に応じて事業所内相談などを積極的に受け入れている

	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	5		有効な声掛けや関わり方について助言や共有をしている。また、ペアレント・トレーニングを開催し、育児の悩みや困り感に寄り添いアドバイスや相談の場の提供を行った。参加希望者が少ないことが課題であるが、継続して取り組んでいきたい。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5		契約時に説明、同意を得ている。変更があった際はその都度説明を行い、書面で取り交わしを行っている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	5		課題を整理し、説明を行って児童発達支援計画の同意を得ている。事業所内だけでなく自宅での様子や困り感、成長等も共有している。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5		定期的な面談や送迎時、連絡帳等を通して助言や相談等丁寧に対応するよう努めている
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5		参加の人数等、連携を取れる機会としては課題があるものの、保護者が集まれる場としてバザーやななちゃれの開催を行い場の提供は行っている。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5		ご意見、ご要望、相談等の申し入れがある際は、仕組みをフローチャート化して契約時に説明、配布している
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5		毎月おたよりを発行し行事や遊び、生活の様子が伝わるよう写真を多く取り入れている。また、SNSでも活動の様子やイベントのお知らせ等の発信している
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	5		契約時に個人情報に関する同意書の取り交わしを行い、注意をしている
	39	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5		意思疎通が図れるよう感情カードやサインを使用したり、手順書や予定表を提示しながら視覚支援を取り入れている
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5		地域で活動している方からご協力を頂いてななちゃれを開催し、施設の一般開放も行っている
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5	
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5		年間防災計画を立て毎月訓練を実施し、連絡帳やおたよりにて保護者へ周知している
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	5		てんかん発作児童に対しては体温、オキシメーターの数値や発作の日時等の記録を取っている。服薬は必ず薬の詳細がわかる書類を添付して貰い、お預かりしている
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5		対象の児童はいなかったが、対応を整えている
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5		ミーティングや会議時に職員で共有し再発防止に向けた話し合いを行っている。また、事業所内研修で取り入れている
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5		虐待防止の研修を事業所内研修として取り入れて職員全員が参加している。また、虐待防止チェックシートを活用し毎月職員間でチェックをしている。
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	5		マニュアルを策定しており、契約時に説明を行い同意を得ている。児童発達支援計画にも記載している。